

令和4年度 高森町はたちの集い 式辞

新年、明けましておめでとうございます。

本日ここに「令和4年度高森町はたちの集い」を挙げるにあたり、小平議会議長を始めご来賓の皆さま方、恩師の先生方には、お正月の公私ともご多用のところをご臨席いただき厚く御礼を申し上げます。

各方面で、新型コロナウイルス感染症第8波の影響が心配されていますが、なんとか、本日この会を開催することができました。開催にあたり、大変なご心配とご苦勞をおかけしました、実行委員会の皆さま、公民館教養部の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、この式典は、これまで成人式として開催してきましたが、成人年齢の引き下げに伴い、今年度より「はたちの集い」として開催することになりました。晴れて二十歳を迎えられました154名の皆さん、誠におめでとうございます。皆さんの門出をお祝いするとともに、本日まで深い愛情を持って育てて来られましたご両親をはじめご家族の皆さまに、心からお祝いを申し上げますとともに、これまで、温かく見守っていただきました恩師の先生方、地域の方々にも感謝と敬意を表します。

3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症拡大は、私たちはこれまでとは違う生活、現状を受け入れざるを得ない状況となりました。仕事では、テレワークやZoomでの会議が推奨され、大学・専門学校では当たり前のように対面授業からオンラインに変更、ともすれば、友だちとの談笑の場や懇親の機会もオンラインで、といった生活スタイルとなりました。このデジタル社会の拡大は多くの利便性をもたらしたのかもしれませんが、しかし、一方でネットやオンラインでは埋めてくれないものもたくさんあると気づかされたのではないのでしょうか。それは、人と人が直接かわす会話の大切さ、人の心の温かみを感じ合う機会の大切さだと思います。先輩や後輩で情報を共有しあったり、飲み会をしたり、思いっきり遊んだり、旅行をしたりという多くの人との関わりや経験は、多様化する社会の中でも、最も大切なものだと気づいたはずで、これからの社会では、デジタル技術という「道具」を利用しつつも、人々の「つながり」や「共感」を大切に作る社会をつくることが求められています。皆さんは、この厳しい状況の中で大人への一歩を踏み出した、ある意味数少ない人たちであり、ぜひ、新しい社会をリードする一員として、前向きに進んでほしいと思っています。

そして皆さんの故郷高森町は、皆さんに熱い期待を寄せ、温かく見守っています。

高森町では、2030年に向けた将来像を「なりたいあなたに会えるまち～日本一のしあわせタウン高森～」とし、そこに住む皆さんの自己実現とともに、高森町に関係

する皆さんが、自分たちの力で地域や町を担っていただくまちづくりを目指しています。飯田市上郷ではリニア中央新幹線駅部の工事が始まり、三遠南信自動車道では青崩トンネルが今年中に貫通が見込まれるなど、当地域はこれまでとは全く違う変貌を遂げようとしています。二十歳を迎え、ここにいる皆さんはきっと自分自身の夢を持ち、将来をイメージしていると思いますが、少しでもそのイメージを地域や高森町を繋いでいただき、高森町が元気になるよう私たちと一緒に頑張っていたきたいと思っています。

結びに、本日の「はたちの集い」が一生に一度の素晴らしい思い出として記憶に残るよう、式典終了後においても新型コロナウイルス感染症対策に心掛けていただきつつ、一方で、地域経済にもご理解いただきながら、楽しんでいただきますようお願いいたします。

二十歳を迎えた皆さんをはじめ、お集まりの皆さま方の一層のご健勝でのご活躍とご多幸を心からご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和5年1月3日

高森町長 壬生 照玄